

Ⅲ 結果の概要

1 農林業経営体

(1) 農林業経営体数

平成 22 年 2 月 1 日現在で実施した 2010 年世界農林業センサス（以下「今回」という。）の結果、農林業経営体数は 393 経営体となり、平成 17 年に実施した 2005 年農林業センサス（以下「前回」という。）に比べ 9.9%減少した。このうち、農業経営体数は 392 経営体（前回に比べ 8.4%減少）、林業経営体数は 2 経営体（同 75.0%減少）となっている。（表 1 参照）

表 1 農林業経営体数

区分	横須賀市			神奈川県		
	農林業 経営体	農業経営体	林業経営体	農林業 経営体	農業経営体	林業経営体
2010 年	393	392	2	15,832	15,612	421
構成比(%)	100.0	99.7	0.5	100.0	98.6	2.7
2005 年	436	428	8	17,444	17,121	570
構成比(%)	100.0	98.2	1.8	100.0	98.1	3.3

注：農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体は、農業経営体と林業経営体にそれぞれ含まれるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

(2) 組織形態別農林業経営体数

農林業経営体を組織形態別にみると、法人化している経営体は 4 経営体（構成比 1.0%）、法人化していない経営体は 389 経営体（同 99.0%）、地方公共団体・財産区は該当なしとなっている。（表 2 参照）

表 2 組織形態別農林業経営体数

区分	経営体数			構成比(%)		
	農林業 経営体	農業経営体	林業経営体	農林業 経営体	農業経営体	林業経営体
農林業経営体	393	392	2	100.0	100.0	100.0
法人化している	4	4	—	1.0	1.0	—
法人化していない	389	388	2	99.0	99.0	100.0
地方公共団体・財産区	—	—	—	—	—	—

2 農業経営体

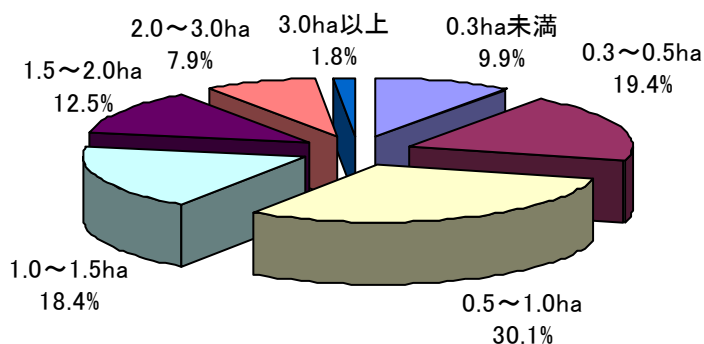
(1) 経営耕地面積規模別農業経営体数

農業経営体を経営耕地面積規模別にみると、最も多いのは 0.5～1.0ha の 118 経営体（構成比 30.1%）で、次いで 0.3～0.5ha の 76 経営体（同 19.4%）、1.0～1.5ha の 72 経営体（同 18.4%）、1.5～2.0ha の 49 経営体（同 12.5%）の順となっている。（表 3・図 1 参照）

表3 経営耕地面積規模別農業経営体数

区分	経営体数	構成比(%)
農業経営体(計)	392	100.0
0.3ha未満	39	9.9
0.3～0.5	76	19.4
0.5～1.0	118	30.1
1.0～1.5	72	18.4
1.5～2.0	49	12.5
2.0～3.0	31	7.9
3.0ha以上	7	1.8

図1 経営耕地面積規模別農業経営体(構成比)



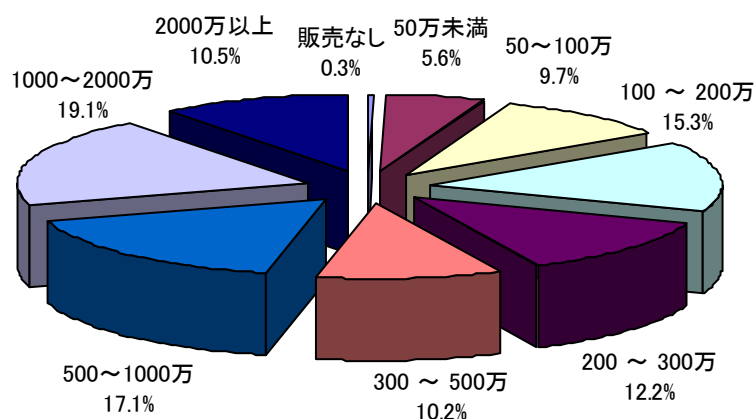
(2) 農産物販売金額規模別農業経営体数

農業経営体を農産物販売金額規模別にみると、最も多いのは1,000～2,000万円の75経営体(構成比19.1%)で、次いで500～1,000万円未満の67経営体(同17.1%)、100～200万円未満の60経営体(同15.3%)、200～300万円の48経営体(同12.2%)の順となっている。(表4・図2参照)

表4 農産物販売金額規模別農業経営体数

区分	経営体数	構成比(%)
農業経営体(計)	392	100.0
販売なし	1	0.3
50万円未満	22	5.6
50～100	38	9.7
100～200	60	15.3
200～300	48	12.2
300～500	40	10.2
500～1,000	67	17.1
1,000～2,000	75	19.1
2,000万円以上	41	10.5

図2 農産物販売金額規模別農業経営体(構成比)



(3) 環境保全型農業への取組み

環境に配慮した農業に取り組んでいる農業経営体数は271経営体で、農業経営体に占める割合は69.0%となっている。このうち、化学肥料の低減の取組みは175経営体(構成比64.6%)、農薬の低減の取組みは206経営体(同76.0%)、堆肥による土作りは224経営体(同82.7%)となっている。(表5参照)

表5 環境保全型農業への取組み

区分	取り組んでいる経営体	化学肥料の低減の取組み		農薬の低減の取組み		堆肥による土作り	
		している	していない	している	していない	している	していない
農業経営体	271	175	96	206	65	224	47
構成比(%)	100.0	64.6	35.4	76.0	24.0	82.7	17.3

(4) 農業生産関連事業の状況

販売を目的として、自ら生産した農産物を用いて加工するなど、農業生産に関連した事業を行っている農業経営体数は 153 経営体で、農業経営体に占める割合は 39.0% となっており、このうち最も多いのは、消費者に直接販売の 148 経営体(構成比 61.9%) となっている。(表 6 参照)

表 6 農業生産関連事業の状況

区 分	農業経営体数	構成比 (%)
農業生産関連事業を行っている経営体	153	100.0
農産物の加工	21	8.8
消費者に直接販売	148	61.9
貸農園・体験農園等	10	4.2
観光農園	31	13.0
農家レストラン	2	0.8
海外への輸出	—	—
その他	—	—

3 農家

(1) 農家数

農家数は 689 戸で、前回と比べると 25 戸 (3.5%) 減少している。

また、農家数を販売農家、自給的農家別にみると、販売農家数は 384 戸 (構成比 55.7%) で、前回と比べ 37 戸 (8.8%) 減少し、自給的農家数は 305 戸 (同 44.3%) で、前回と比べて 12 戸 (4.1%) 増加している。(表 7 参照)

表 7 農家数

区分	横須賀市 (単位: 戸)			神奈川県 (単位: 戸)		
	農家数	販売農家数	自給的農家数	農家数	販売農家数	自給的農家数
2010 年	689	384	305	27,996	14,863	13,133
構成比 (%)	100.0	55.7	44.3	100.0	53.1	46.9
2005 年	714	421	293	29,681	16,414	13,267
構成比 (%)	100.0	59.0	41.0	100.0	55.3	44.7

(2) 地区別総農家数

本市の農家数を地区別にみると、衣笠、大津、浦賀地区以外の地区で減少しており、中でも逸見地区は 100.0% と最も大きな減少率となっている。

地区別の構成比では、西地区が 60.8% と最も大きく、次いで北下浦地区が 22.1%、衣笠地区が 7.5% となっており、本市全体の 80% 以上の農家が西地区と北下浦地区で農業を営んでいる。(表 8 参照)

表 8 地区別総農家数

地 区 別	農家数 (戸)			構成比 (%)	
	2010 年	2005 年	増減率(%)	2010 年	2005 年
総 数	689	714	-3.5	100.0	100.0
本 庁	—	—	—	—	—
追 浜	—	—	—	—	—
田 浦	9	11	-18.2	1.3	1.5
逸 見	—	1	-100.0	—	0.1
衣 笠	52	51	2.0	7.5	7.1
大 津	2	1	100.0	0.3	0.1
浦 賀	23	22	4.5	3.4	3.1
久 里 浜	32	33	-3.0	4.6	4.6
北 下 浦	152	158	-3.8	22.1	22.1
西	419	437	-4.1	60.8	61.2

4 販売農家

(1) 経営耕地面積規模別農家数

販売農家を経営耕地面積規模別にみると、0.3ha 未満が 32 戸（構成比 8.3%）、0.3～0.5ha が 76 戸（同 19.8%）、0.5～1.0ha が 118 戸（同 30.7%）となっており、1.0ha 未満の階層が販売農家に占める割合は 58.8%となっている。

また、前回と比べると、0.5～1.0ha が 118 戸（同 30.7%）と増減なし、1.5～2.0ha が 49 戸（同 12.8%）、3.0ha 以上が 7 戸（同 1.8%）増加したが、他の階層はいずれも減少している。（表 9 参照）

表 9 経営耕地面積規模別農家数

区 分	農家数 (戸)			構成比 (%)	
	2010 年	2005 年	増減率(%)	2010 年	2005 年
販売農家(計)	384	421	-8.8	100.0	100.0
0.3ha 未満	32	40	-20.0	8.3	9.5
0.3～0.5	76	97	-21.6	19.8	23.0
0.5～1.0	118	118	—	30.7	28.0
1.0～1.5	71	86	-17.4	18.5	20.4
1.5～2.0	49	41	19.5	12.8	9.7
2.0～3.0	31	33	-6.1	8.1	7.8
3.0ha 以上	7	6	16.6	1.8	1.4

(2) 農産物販売金額規模別農家数

販売農家を農産物販売金額規模別にみると、販売金額 100～300 万円未満が 107 戸（構成比 27.9%）と最も多く、次いで 1,000～2,000 万円未満の 75 戸（同 19.5%）、500～1,000 万円未満の 67 戸（同 17.4%）の順となっている。

また、前回と比べると 50 万円未満を除き、各階層で減少しているが、中でも「販売なし」は 83.3%と大きく減少している。（表 10 参照）

表 10 農産物販売金額規模別農家数

区 分	農家数 (戸)			構成比 (%)	
	2010 年	2005 年	増減率 (%)	2010 年	2005 年
販売農家(計)	384	421	-8.8	100.0	100.0
販 売 な し	1	6	-83.3	0.3	1.4
50万円未満	17	16	6.3	4.4	3.8
50 ～ 100	38	42	-9.5	9.9	10.0
100 ～ 300	107	112	-4.5	27.9	26.6
300 ～ 500	40	43	-7.0	10.4	10.2
500 ～ 1,000	67	76	-11.8	17.4	18.0
1,000 ～ 2,000	75	85	-11.8	19.5	20.2
2,000 万円以上	39	41	-4.9	10.2	9.8

(3) 主副業別農家数

販売農家を主副業別にみると、主業農家は210戸（構成比52.5%）、準主業農家は70戸（同23.0%）、副業的農家は113戸（同24.5%）となっており、主業農家の割合が最も高くなっている。前回と比べると、主業農家は9.0%、準主業農家は27.8%、副業的農家は9.7%とそれぞれ減少している。（表11参照）

表 11 主副業別農家数

区 分	農家数 (戸)			構成比 (%)	
	2010 年	2005 年	増減率 (%)	2010 年	2005 年
販売農家(計)	384	421	-8.8	100.0	100.0
主 業 農 家	201	221	-9.0	52.5	52.3
準主業農家	70	97	-27.8	23.0	18.2
副業的農家	113	103	9.7	24.5	29.5

(4) 専兼業別農家数

販売農家を専兼業別にみると、専業農家数は187戸（構成比48.7%）、第1種兼業農家数は89戸（同23.1%）、第2種兼業農家数は108戸（同28.2%）となっている。

また、前回と比べると、専業農家は1.1%、第1種兼業農家は14.4%、第2種兼業農家は15.6%とそれぞれ減少している。（表12参照）

表 12 専兼業別農家数

区 分	農家数 (戸)			構成比 (%)	
	2010 年	2005 年	増減率 (%)	2010 年	2005 年
販売農家(計)	384	421	-8.8	100.0	100.0
専業農家	187	189	-1.1	48.7	44.9
兼業農家	197	232	-15.1	51.3	55.1
第1種兼業農家	89	104	-14.4	23.1	24.7
第2種兼業農家	108	128	-15.6	28.2	30.4

5 世帯員数と就業構造

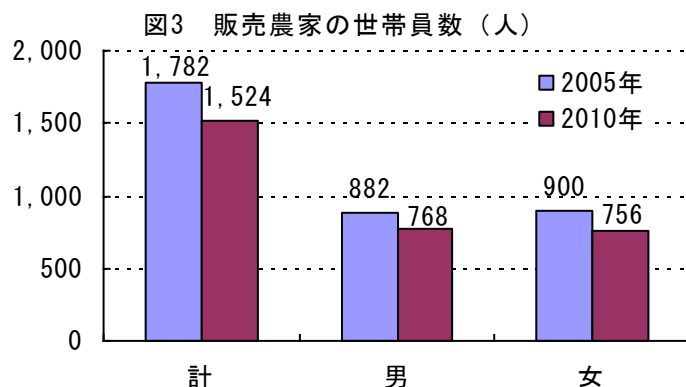
(1) 世帯員数

販売農家の世帯員数は、1,524人で、前回と比べて258人(14.5%)減少している。

(表13・図3参照)

表13 販売農家の世帯員数

区 分	世帯員数(人)		計
	男	女	
2010年	768	756	1,524
2005年	882	900	1,782
増減率(%)	-12.9	-16.0	-14.5



(2) 就業状態

販売農家の農業従事者数は1,109人で、前回に比べて131人(10.6%)減少している。

このうち、農業就業人口は869人で、前回に比べて181人(17.2%)減少し、基幹的農業従事者は805人で、前回に比べて73人(8.3%)減少している。(表14参照)

表14 農業従事者、農業就業者人口、基幹的農業従事者数

区 分		人数(人)		
		2010年	2005年	増減率(%)
農業従事者		1,109	1,240	-10.6
男		590	654	-9.8
女		519	586	-11.4
	農業就業者人個	869	1,050	-17.2
	男	450	507	-11.2
	女	419	543	-22.8
	基幹的農業従事者数	805	878	-8.3
	男	442	463	-4.5
	女	363	415	-12.5

(3) 年齢別農業就業人口及び平均年齢

販売農家の農業就業人口を年齢別にみると、70歳以上が296人と最も多く、15～29歳が50人と最も少なくなっている。前回と比べると30～39歳での減少率41.7%が最も高く、年齢層が高くなるほど減少率は低くなっている。(表15参照)

また、販売農家の農業就業人口に占める生産年齢人口は、前回に比べ23.9%減少しており、平均年齢は4.9%(2.8歳)増加している。(表16参照)

表15 年齢別農業就業人口

区 別	農業就業人口(年齢別)(人)					
	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2010年	50	56	102	157	208	296
2005年	83	96	135	181	254	301
増減率(%)	-39.8	-41.7	-24.4	-13.3	-18.1	-1.6

表 16 年齢別農業就業人口

区別	15～64 歳	65 歳以上(人)	計	平均年齢(歳)
	生産年齢人口(人)			
2010 年	461 (53.0%)	408 (47.0%)	869	60.4
2005 年	606 (57.7%)	444 (42.3%)	1,050	57.6
増減率(%)	-23.9	-8.1	-17.2	4.9

()内は構成比

6 土地

(1) 経営耕地面積

経営耕地面積は 426ha で、前回と比べて 12ha (2.7%) 減少している。

このうち、販売農家は 381ha で、前回と比べて 14ha (3.5%) 減少し、自給的農家は 45ha で、前回と比べて 2ha (4.7%) 増加している。農家 1 戸当たりの経営耕地面積は 0.62ha で、前回と同数値であったが、販売農家では 0.06ha (6.4%) 増加した。(表 17 参照)

表 17 経営耕地面積

区 別	経営耕地面積 (ha)			1 戸当たりの経営耕地面積 (ha)		
	2010 年	2005 年	増減率(%)	2010 年	2005 年	増減率(%)
農家(計)	426	438	-2.7	0.62	0.62	0.0
販売農家	381	395	-3.5	1.00	0.94	6.4
自給的農家	45	43	4.7	0.14	0.15	6.7

(2) 地目別経営耕地面積

販売農家の経営耕地面積 38,070a を地目別にみると、田は 1,006a (構成比 2.6%) で、前回と比べて 447ha (30.8%) 減少している。また、畑は 34,279a (同 90.1%)、樹園地は 2,785a (同 7.3%) となっており、前回と比べて、それぞれ 844a (2.4%)、100a (3.5%) 減少している。(表 18 参照)

表 18 販売農家の地目別経営耕地面積

区 別	面積 (a)			構成比 (%)	
	2010 年	2005 年	増減率(%)	2010 年	2005 年
経営耕地(計)	38,070	39,461	-3.5	100.0	100.0
田	1,006	1,453	-30.8	2.6	3.7
畑	34,279	35,123	-2.4	90.1	89.0
樹園地	2,785	2,885	-3.5	7.3	7.3

(3) 耕作放棄地面積

耕作放棄地のある農家数は 145 戸で、前回と比べるとそれぞれ 8 戸 (5.2%) 減少している。販売農家・自給的農家別に前回と比べると、販売農家では、耕作放棄地のある農家数が 9 戸 (16.7%)、耕作放棄地面積が 1ha (8.3%) とそれぞれ減少しているが、自給的農家では、農家数 1 戸 (1.0%)、面積 1ha (4.8%) とそれぞれ増加している。(表 19 参照)

表 19 耕地放棄地のある農家数と面積

区 分	耕作放棄地のある農家数(戸)			耕作放棄地面積(ha)		
	2010 年	2005 年	増減率(%)	2010 年	2005 年	増減率(%)
農家(計)	145	153	-5.2	33	33	0.0
販売農家	45	54	-16.7	11	12	-8.3
自給的農家	100	99	1.0	22	21	4.8

7 農作物

販売目的で作物を作付けした販売農家数は 378 戸となっている。

類別にみると、作付農家数では「野菜類」が 371 戸（構成比 98.1%）と最も多く、次いで「いも類」の 59 戸（同 14.8%）、「稲」の 27 戸（同 7.1%）の順となっている。（表 20 参照）

表 20 販売目的で作付けした作物の類型作付農家数及び面積

	露地			施設		
	農家数(戸)	構成比(%)	面積(a)	農家数(戸)	構成比(%)	面積(a)
作付農家(計)	378	100.0	41,126	44	100.0	578
稲	27	7.1	584	—	—	—
麦類	—	—	—	—	—	—
雑穀	1	0.3	X	—	—	—
いも類	59	14.8	323	—	—	—
豆類	26	6.9	161	—	—	—
工芸農作物	1	0.3	X	—	—	—
野菜類	371	98.1	39,447	42	95.5	552
花き類・花木	24	6.6	469	3	6.8	X
その他の作物	8	2.4	84	1	2.3	X

8 家畜（農業経営体）

販売目的で家畜を飼養している農業経営体数を畜種別にみると、「肉用牛」が 5 経営体と最も多く、飼養頭数は 93 頭となっている。

飼養頭羽数を前回と比べるとすべて減少している。（表 21 参照）

表 21 家畜の飼養状況（農業経営体）

区分	飼養経営体数			飼養頭羽数			1 経営体当たりの飼養頭羽数	
	2010 年	2005 年	増加率(%)	2010 年	2005 年	増加率(%)	2010 年	2005 年
乳用牛	2	2	—	X	X	X	X	X
肉用牛	5	6	-16.7	93(頭)	133(頭)	-30.1	18.6(頭)	22.2(頭)
豚	1	1	—	X	X	X	X	X
採卵鶏	4	4	—	66,500(羽)	75,350(羽)	-11.7	16,625(羽)	18,838(羽)